

自民党神戸市会議員から、初の衆議院議員へ

神戸の経験を、 日本の未来を創る力へ

坊 やすなが

久元市政と一体となり、神戸の未来を切り拓く



歴史的な 「壁」への挑戦

これまで、自民党神戸市会議員から衆議院議員を輩出することは、歴史的に叶いませんでした。私はこの厚い壁に挑みます。

地方自治の最前線で23年間、市民の皆様と共に歩んできた「神戸の代表」として、今度は国政の場から神戸の未来を切り拓きます。

“「現場の痛みと可能性を知り尽くしている」”

国政のど真ん中に通す、23年の「太いパイプ」



国政・総理官邸

(National Politics / PM Office)



神戸市議会

(Kobe City Council) - 23年間

全国市議会議長会会長



神戸の現場

(Kobe Field)

「神戸市政の中身を
理解していない
国会議員に、
地に足のついた
向上策は
期待できません。」

「久元市政と完全に
一体となり、
神戸の政策を
国政のど真ん中で
実現できるのは、
私に他なりません。」

「逞しく耀く神戸」の創造

政治はまず「思う」ことから。そして、皆が喜ぶ絵（ビジョン）を描くことから始まる。



大都市・神戸の誇りを守り、
市民生活を向上させる。



神戸の特性を活かした産業を育て、
人口減少と市民所得の低迷に歯止めをかける。

【1】神戸を「特別市」へ

大都市が抱える課題は、もはや県域を超えて高度化しています。

二重行政を解消し、決断を速める



● 特別市の法制化

市が県を介さず国と直接連携し、権限と財源を一本化する制度を実現します。



● 迅速な意思決定

二重行政のムダを省き、スピード感を持って実行できる環境を整えます。

【2】神戸港の復活

世界と戦える「海洋産業の母港」へ

市民の3割が港に関連して働く神戸にとって、港の再興は経済再生の鍵です。

海洋資源開発の拠点化

南鳥島沖での海洋資源獲得という国策に対し、神戸港をその「母港」として選定させる。

港湾産業の育成

船の活用が必須となる新産業を誘致し、強い港を復活させます。



神戸ブランドの再構築と「稼ぐ力」の最大化

● 「森の未来都市構想」への国費投入

大都市における新しい都市モデルとして、国からの支援策を策定。震災を乗り越えた神戸のブランド力をさらに高め、「神戸人のプライド」を取り戻します。

● 観光産業の加速

国内外の良質なインバウンド客を誘致し、地域経済の活性化に直結させます。



【4】強い経済 - 戦略①

手取りを増やす

働く人の努力が報われる経済対策を断行します。

「178万円の壁」の突破

基礎控除等を見直し、2026年（令和8年）末調整から手取りを増やします。

「給付付き税額控除」の実現

税と社会保険料の負担を軽減し、中・低所得層の生活を支えます。

【4】強い経済 - 戦略②

物価高から生活を守る

生活の安心を実感できる直接的な支援。

ガソリン税等の暫定税率廃止 & エネルギーコスト抑制

燃料費高騰を抑え、物流コストと家計負担を直接軽減します。電気代・ガス代の高騰対策を継続・強化し、中小企業の経営と家庭の財布を守ります。



【4】強い経済－戦略③

農業の強化と地域活力

食料安全保障は国の礎。神戸の豊かな農地を次世代の成長産業へ。



● スマート農業の推進

ドローンやAIを活用した効率的な農業経営を支援し、生産性を飛躍的に向上させます。

● 農業生産基盤の強化

土地改良や担い手への支援を通じ、災害に強く、持続可能な「稼げる農業」を実現します。

● 神戸産ブランドの輸出拡大

神戸の農産物を世界へ。地産地消だけでなく、グローバルな販路開拓を国が後押しします。

【5】政治・行政改革

信頼される政治のインフラを築く

「禁止よりも公開」を徹底

政治資金の透明化

令和9年までに有識者会議の結論を得て、実効性のある法制措置を講じます。

憲法改正への挑戦

自衛隊の明記や緊急事態対応など、時代に即した新しい憲法を、丁寧な説明を通じて実現します。

徹底した「現場主義」



「目で聴き、耳で観る」

坊やすながは、徹底的に「結果」にこだわります。
皆さまの「実現したい」という思いを届けるべく、
調整すべき関係者と対話をし、しかるべき場でしっかりと発言します。

神戸が「逞しく耀くまち」であり続けるよう、日々立ち止まらずに行動を続けます。

思う。描く。そして、創る。

神戸の経験を、日本の未来を創る力へ。
あなたの声を、国政へ届けるために。

坊やすながの最新の動きをチェック

